

東京データプラットフォーム協議会 第5回推進会議

事務局資料

令和4年6月24日

匿名投票ツール『Mentimeter(メンティミーター)』のご説明

本推進会議ではスマートフォン等を通し、皆様からの投票を実施

Mentimeter機能の特徴	
容易な参加方法	■ お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取るだけでログイン不要で参加可能 (スマートフォン・PC等でコードを入力することでも参加可能)
リアルタイム回答表示	■ お手元のデバイスで質問に回答すると、ブラウザ上にリアルタイムで結果を反映
匿名回答	■ 皆様の回答は 完全匿名 (事務局も回答は把握できません)

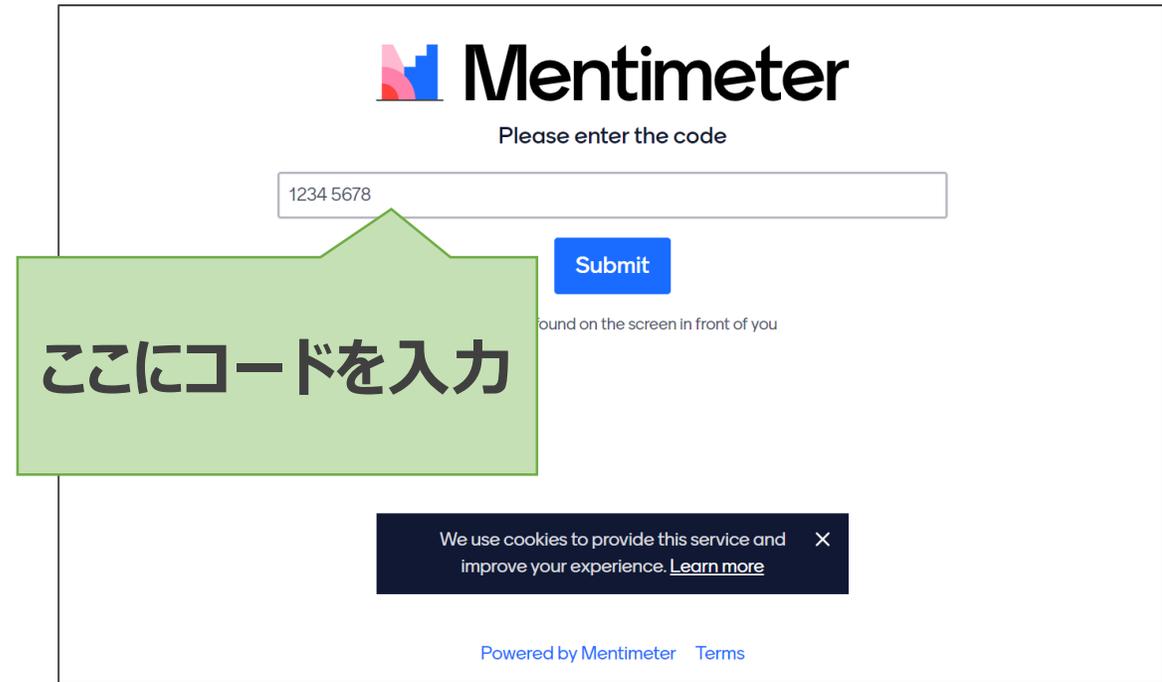
※会議中何度かご質問をいたしますので、回答画面は会議終了までそのままお願いいたします。

匿名投票ツール『Mentimeter(メンティミーター)』のご説明

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください。



URL : <https://www.menti.com>



コード : 35 28 40 0

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします。

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

1. 開会の挨拶

東京都 副知事 宮坂 学

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

委員のご紹介

越塚 登

東京大学大学院 情報学環 教授

佐藤 真希子

**株式会社iSGSインベストメントワークス
取締役 代表パートナー**

庄司 昌彦

武蔵大学社会学部 メディア社会学科 教授

南雲 岳彦

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事

日置 巴美

三浦法律事務所 弁護士

(敬称略・50音順)

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

【振り返り】委員からいただいたご意見（1/3）

分類	主なご意見（第4回推進会議より）	対応方針
TDPFのビジョンとテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPFの取組は世界でも先陣を切っている。多くのステークホルダーとイメージを共有し、熱意をもって継続する必要がある。ヒューマンセントリックでありつづけ、人々のWell-being達成に挑戦しなければならない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョン・ミッション、人対人の関係構築の重要性を意識しながら、TDPFコミュニティに集積された知を、WGやMeet-upでブラッシュアップ
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当初に描いた「目指すべき姿」を忘れず、高齢者や障害者など、社会的弱者の視点を忘れずに取組を進めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業収支のみにとらわれず、行政として後押しすべき領域に対する取組を推進する
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境分野（ゼロカーボン）の取組も重要であり、スタートアップ業界においても大注目分野。データ基盤からデータを収集しなければ算定できないなど、アプリケーションがカギ。ベンチャーと都が連携することで、取組が加速するのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ■ グリーンやエネルギーといったテーマのユースケースをMeet-upなどを通じ検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディ事業で行われた物が1回限りで終わってしまわないように、経験や知見、成果物などを何らか引き継ぐことや、同じ方が再チャレンジできるなどの継続性が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ケーススタディ事業をWG活動等としっかりリンクさせ、得られた成果や課題を継続的に活用していく ■ 目に見える・共有できるナレッジとして蓄積し、翌年度以降の活動に引き継ぐ方策を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内だけで検討を進めるのではなく、意識的に海外を見ていくことが重要。東京都と同じ規模の海外の大都市と一緒にやっていくことが、世界に対する貢献という意味でも重要（例：ニュー・ヨーロピアン・バウハウス、フェムシティ） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内のみならず、海外にも視野を拡げ、先進事例調査などを通じ、検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取組内容が多くなるに従い、マネジメントが重要になっていく。基準やWell-being指標、コストパフォーマンスも踏まえた議論等をもって、継続する・サスペンドする・やめる等を決めていく 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業計画（案）の進捗・成果を年度毎に見極め、指標の検討や必要な修正を図りながら事業を進めていく

【振り返り】委員からいただいたご意見（2/3）

分類	主なご意見（第4回推進会議より）	対応方針
トラスト	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPFはデータに関する法令をフォローする対応が必要であり、プライバシーへの配慮や透明性、トランザクションなどのトラストを担保するためルールと体制づくりが必要。またデータガバナンスは、厳格すぎるルール化は不要 ■ TDPFがトラストを確保するための議論をする際には、人材育成や体制整備が重要 ■ 個人情報関連や特定個人情報関連は規制緩和が進みづらい。スマートフォンの利用を前提としたルール作りを、国と連携して進めていく必要がある ■ 個人情報保護法以外の法令に対する、不正競争防止法、独占禁止法、サイバーセキュリティ基本法、知的財産権についても検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度から立上予定のトラスト検討WGで、TDPFでのトラストのあるべき姿とその実現の方策を、国や関連団体と連携して検討 ■ 個人情報保護法以外の法令の最新動向も踏まえ、利用者の利益になるようなガバナンスルールを、ポリシー策定委員会で議論し、ポリシー案に反映していく
データ・基盤	<ul style="list-style-type: none"> ■ データのフォーマット統一を誰の権限で、誰がどのタイミングで更新して、その責任は誰が負うのかを組織として考えることが必要。また行政データ収集・整備を、企業・一般の方も参加・貢献できるイベントとして行うことを検討するのも一つの手 ■ データ連携基盤は、都市OSの観点からも先行的な事例になる。積極的にどんどん進めてほしい。ただし現段階で実装方法まで決定する必要はないのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ■ WGやケーススタディ事業等を通じ、データフォーマットの課題や、データの効率的な収集手法について（例えば都民参加型のデータ収集スキーム）等を検討予定 ■ 今年度、仮想データ連携基盤を構築・活用し、利用者からのフィードバックや国・各団体の動向を踏まえ要件定義書を改版予定。基盤構築は、リーンスタートで進める方針

【振り返り】委員からいただいたご意見（3 / 3）

分類	主なご意見（第4回推進会議より）	対応方針
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区市町村・基礎自治体から求められている支援は、コミュニティ内での対応等、連携可能なものからすぐに実施していくべき 	<ul style="list-style-type: none"> ■ オープンな情報発信により自治体を含めたコミュニティ形成を継続し、他事業との連携も図りながら対応方法を検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ スタートアップの若手経営者やエンジニアが参加するとデータの利活用がすすむ。また大学生や高専生などの将来の人材が、東京都のデータの利活用やそこから生まれるサービスを考える機会を増やすことで、新しい力を巻き込むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 今年度試行を予定するアドバイザー制度の構築検討に際し、当該視点を取り入れ、データ利活用にチャレンジしたい人たちを支援する体制を構築
	<ul style="list-style-type: none"> ■ アイデアソン等において民間を巻き込んだ動きが生まれ始めていることはポジティブ。データ基盤やコミュニティが、「尖った事をやりたい人達が集まり、チャレンジできる場所」である事が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ■ WG活動やMeet-up等の取組を通じ、様々な視点・多様な意見を収集し、新しいユースケースを創出。オープンデータハッカソンとの連携も検討
	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジョンに基づいて、具体的目つわかりやすくオープンな発信を心掛ける。どんなことがあって誰が来てどんな結果が出たのか、そのエピソードと成果を、メディア等でのプレスリリースでわかりやすく発信することが大事 	<ul style="list-style-type: none"> ■ TDPFビジョン・ミッションのもと、引き続きオープンな取組を継続。Slackへの積極的な参加促進、WebサイトやYouTubeでの各種情報公開等、開かれたコミュニティの形成に努める
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人事ローテーション（リーダーが変わる、キーパーソンが変わる、支援者が変わる等）によるナレッジやパッションのブレークダウンリスクを乗り越える必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 常にビジョン・ミッションに立ち返る運営を引き継いでいくことで、ブレークダウンリスクを極小化 ■ コミュニティで培ったナレッジを、翌年度以降の取組に引き継いでいく方策を検討

【振り返り】参加者からいただいたご意見

分類	主なご意見	対応方針
TDPFの取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ利活用を推進するには、企業の協力を引き出せるような様々なユースケースが必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ WGの拡大、ケーススタディ事業、アドバイザー制度構築などを通じ、ユースケース創出の活動を更に強化
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一部の方の活動に関するお知らせが多く、参加の仕方がうまく把握できない 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Slackを軸とした活性化プランを検討
TDPF関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仮想データ連携基盤構築におけるローコード採用は特定ツールに依存するため、構築には慎重な判断が必要となる 	<ul style="list-style-type: none"> ■ データ連携基盤は、下期にケーススタディ事業等でトライアル運用を実施し、要件定義書の改訂を予定。利用者から得られたフィードバックと合わせ、ご指摘の観点も検討予定
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仮想データ連携基盤のプロトタイプ実装計画にどのような課題がありどのような順番で解決していくかを示してほしい ■ 個人情報のルールに則るためには具体的にどのような活動をすればよいのかを検討したい ■ 今後、TDPFの利用を視野に入れながらデータフォーマットを作成したいため、TDPFと同じデータ形式のサンプルのようなものが欲しい 	

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

東京版Society 5.0「スマート東京」の全体像

デジタルサービスで都民のQOL向上 3つのシティ実現

セーフシティ

ダイバーシティ

スマートシティ

防災

まちづくり

モビリティ

エネルギー

自然

ウェルネス

教育

働き方

産業



- カメラ、ドローンで情報収集
- AI危険自動検知



- 3Dデジタルマップ



- 自動運転
- MaaS



- 地産地消
- デマンドコントロール



- 水と緑
- 生物多様性



- 見守りロボット
- 病気早期発見
- 遠隔診療



- 個別最適化教育
- タブレット学習
- 遠隔授業



- テレワーク
- 単純業務AI化



- IoT、3Dプリンター
- 農林水産業自動化

アウトプット



TOKYO Data Highway



アウトプット

Bluetooth



オープンなビッグデータプラットフォーム / AI活用

LPWA



データ



データ



Bluetooth

データ

自然・気象



インフラ



くらし・経済



都庁デジタル
トランスフォーメーション

デジタルシフト

オープンガバメント

デジタル人材

ビジョン

- 官民のデータ流通を促して、イノベーションを後押し、社会課題を解決
- 全ての人が快適に暮らし働くことができる社会・スマート東京を実現

ミッション

- 都民・データ利活用に関わるあらゆる人たちと、オープンに協働
- 安心してデータ利活用できる社会の実現を先導

データ戦略

様々な組織と「つながる」、データが相互に「流れる」ことで、イノベーションを後押し

また、現状に留まることなく、常に「進化する」ことへの挑戦を継続

TDPFは、データ流通推進事業・データ整備事業の実施や各種取組により、2025年に以下を達成し、社会的課題の解決につながっていることを目指す

- TDPFが、会員主体の**活発なデータ利活用事例創出が行われているコミュニティ**となり、参加者は、国・自治体との連携や産学官交流を通じ、多様な分野で活動し、**社会課題の解決**に貢献できること
- データ整備事業と社会啓発活動により、**社会のデータ整備コストを低減**し、官民がデータ提供しやすい環境を整えていること
- 他自治体・他団体と連携し、**オープン、かつワンストップで多種多様（リアルタイム、条件付等）なデータを取り扱えるデータ連携基盤**を提供できていること
- **データ利活用に関するルール・運営体制を整備**し、TDPF利用者が、**安心して**データ利活用に取り組める環境を提供できていること

5つの観点で、TDPFのフォーカス分野を選定

- 1 東京都として重点的に取り組む必要があること（「未来の東京戦略」等を参照）
- 2 中央省庁や民間企業等の取組と他のデータプラットフォームとの棲み分けが明確であること（特に民間のデータ利活用が進展していない分野）
- 3 基礎自治体単位ではなく、広域自治体である東京都が取り組む必要性があること
- 4 行政の介入なくして埋まらない需給ギャップ[※]が相対的に大きいこと
※ 市場の原理に任せては、需給のバランスがとれていない状態
- 5 個人情報を含まないデータで、十分な価値提供ができること

TDPFの注力分野

「防災」と「まちづくり」を現時点のフォーカス分野に選定し、取組を推進中
これら以外のニーズ探索も進め、今年度は新分野の取組にも拡大予定

フォーカス分野	中央省庁や民間企業の取組と重複が生じないか	広域自治体として取り組む必要があるか	行政の介入なくして埋まらない需給ギャップが相対的に大きいか	個人情報を含まないデータで、十分な価値提供ができるか
防災 	「SIP4D」※等存在するが、民間によるデータ利活用の余地はありと想定	広域連携による防災への対応が重要になると想定	官民間でのデータ利活用ニーズあり、連携の余地あり	インフラ稼働情報、避難所開設情報等、個人情報を用いないデータの活用が可能
まちづくり 	NPO法人や企業等多様な事業主体との更なる連携が重要	基礎自治体による施設・設備・空間情報等の可視化は道半ば	施設・設備・空間情報等のデータは民間・自治体に散在し、一元化の余地あり	施設・設備・空間情報等、個人情報を用いないデータ活用が可能

コミュニティ構築・業務基盤整備を、国・他PFと連携しつつ段階実施

TDPF構築のステップ

主な取組

令和3年(2021年)	令和4年(2022年)	令和5年(2023年)～令和7年(2025年)		
TDPF運営組織 設立準備	(仮) TDPF運営組織 設立・運営			
準備会の議論を踏まえたコミュニティ構築、業務基盤整備開始	運営組織を想定した活動強化・推進 コミュニティ（民間事業者等）の自律的な活動を支援・拡大	運営組織立上げ 都の協働事業開始	コミュニティ・業務基盤強化 他団体との連携強化	
<ul style="list-style-type: none"> 協議会を設立し、コミュニティ構築開始 注力分野を定め、WG活動拡充（防災データ・施設系データ集約 新設） データ整備事業検討開始 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の取組強化WG活動拡大（3→5、アドバイザー制度等の活動支援強化） 創出されたモデルユースケースを、仮想データ連携基盤に実装 	<ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤構築、運営組織による各事業スタート データ整備事業開始 アドバイザーリーボード（第三者委員会）設置・運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 他PFとの接続開始 データ連携基盤の取扱いデータ拡充 協議会有償会員制度設計 	<ul style="list-style-type: none"> 他PFとの接続を梃子に国・産学官との連携事例創出 有償データ取扱開始 基盤充実により会員増を目指す

TDPFの事業と位置づけ

TDPFが目指す姿であるスマート東京の実現に向け
プラットフォームの利用を促す多角的な取組を推進中

スマート東京 (東京版Society 5.0)

デジタルサービスで都民のQOL向上 3つのシティ実現 セーフシティ ダイバーシティ スマートシティ



データ利用者

デジタルツイン

②ユースケース創出

TDPF
ケーススタディ事業

TDPF協議会運営及び
ポリシー改訂等業務事業

利用者・提供者
をつなぐ取組

①コミュニティ構築

TDPF協議会運営及び
ポリシー改訂等業務事業

④ポリシー整備

⑤基盤構築

データ連携基盤
構築事業

都庁デジタル
トランスフォーメーション

デジタルシフト
オープンガバメント
デジタル人材

運営組織
設立

データ提供者

③データ整備

TDPF
データ整備事業

TDPF
ケーススタディ事業

オープンデータ
推進

TDPF ロードマップ

令和2年度

令和3年度

令和4年度

●デジタルサービス局新設 ●(国)デジタル庁設置

①コミュニティ構築

準備会設立

・事業範囲、WGの検討

協議会設立

・事業内容、事業計画(案)等の検討
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

①協議会の取組拡充

・事業内容、事業計画(案)の検討
・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

②ユースケース創出

データ利活用実証プロジェクト

・TDPFの中核となる事業・ユースケースの検討

WGの設置

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

WGの拡大 (3⇒5)

・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論
・アドバイザー制度の構築(試行)等によりユースケース創出を支援

③データ整備

行政データ整備モデルの構築

・区市町村の行政データ整備手法をマニュアル化し、TDPFへ誘因

③データ整備手法の拡充・事業化準備

・民間事業者や自治体等のデータ整備を通じ
ニーズの高いデータフォーマットを統一

④ポリシー

ポリシー案1.0策定

・TDPFのデータガバナンスに係るポリシー案1.0策定

ポリシー案の改訂

・継続検討・確定事項の反映

④ポリシー案改訂・アドバイザーボード設置準備

・継続検討・確定事項の反映、アドバイザーボードの検討

⑤基盤構築

データ連携基盤構築事業の要件定義

・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

⑤仮想データ連携基盤の構築・提供

・データ連携基盤の要件定義改版、仮想データ連携基盤の構築

TDPF 活動内容について

TDPFの活動内容は、東京都デジタルサービス局ホームページや、YouTubeに公開

東京データプラットフォーム協議会
東京都デジタルサービス局

東京都デジタルサービス局- YouTube



こちらからアクセス



こちらからアクセス

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

令和4年度TDPF協議会の概要

WG活動を拡大するとともに、アドバイザー制度構築によりユースケース創出の取組を拡充
コミュニティの更なる発展とあわせ、TDPF運営開始に向けた準備を加速

東京データプラットフォーム協議会

推進会議



様々な分野の有識者等で構成

防災データ
WG

施設系データ
集約WG

統合
混雑
WG



新規WG①

新規WG②

新規WG③



アドバイザー

テーマごとの関係者（企業等）で構成
アドバイザーによる支援

イベント

イベント

コミュニティ活性化のためのイベントを開催

実施内容

推進
会議

- WG・イベントの取組や関連事業の進捗状況報告
- 注力分野や事業計画（案）等の共有・討議

WG

- WGを3から5へ分野拡充するとともに、ケーススタディ事業とも連携しユースケース創出を更に推進
- 国内外の先行事例調査や新たに各分野の専門家から助言を得られるアドバイザー制度の構築等によりユースケース創出の取組を支援

イベント

- WG活動の推進及び協議会メンバーのネットワーク拡大に向けたイベント実施

令和4年度 推進会議テーマ案

各回の推進会議にて、事業計画の核となる事項に関する討議や、ユースケース案、関連事業の進捗等の情報共有をする予定

各回の主要アジェンダ

6月24日（本日）

第5回

- TDPF各事業の今年度取組方針
- 新規WG立ち上げ

第2四半期

第6回

- 各事業進捗
- 新規WG活動
- 事業計画（案）

第3四半期

第7回

- ケーススタディ等
各事業成果報告
- 事業計画（案）

第4四半期

第8回

- 今年度活動総括
- 次年度以降の活動紹介

WG

既存WG（防災・施設）でのデータ利活用課題やユースケースの検討状況
新規WG立上状況

イベント

イベントの企画案・実施内容・結果報告

関連事業等

他事業の進捗状況・結果、業務設計、ポリシー、システム仕様等の検討状況報告

令和4年度 新規WG立上げ（案）

既存2WGの活動を進化させるとともに、
昨年度活動で明らかになったニーズ・課題等を踏まえ、WGを3つ立上予定

令和3年度

防災データWG

施設系データ集約WG

混雑WG

統合

令和4年度

① 防災データWG

令和3年度に検討したユースケース等を
具体化し、取組を進化、横展開を目指す

② 施設系データ集約WG

③ TDPFトラスト
検討WG 

TDPF事業におけるデータ提供者・利用者
の安心・信頼を実現するための施策の検討

④ エリア連携
WG 

各スマートシティのデータ利活用の取組が
相互につながることで価値拡大を生む
ユースケースとTDPF役割の検討

⑤ TDPF
Meet-up 

グリーン、観光、まちづくりなどスマート東京に
資する新分野開拓

(WG名称は現時点仮称、検討中)

協議会の活動

ケーススタディプロジェクト

データ連携基盤構築

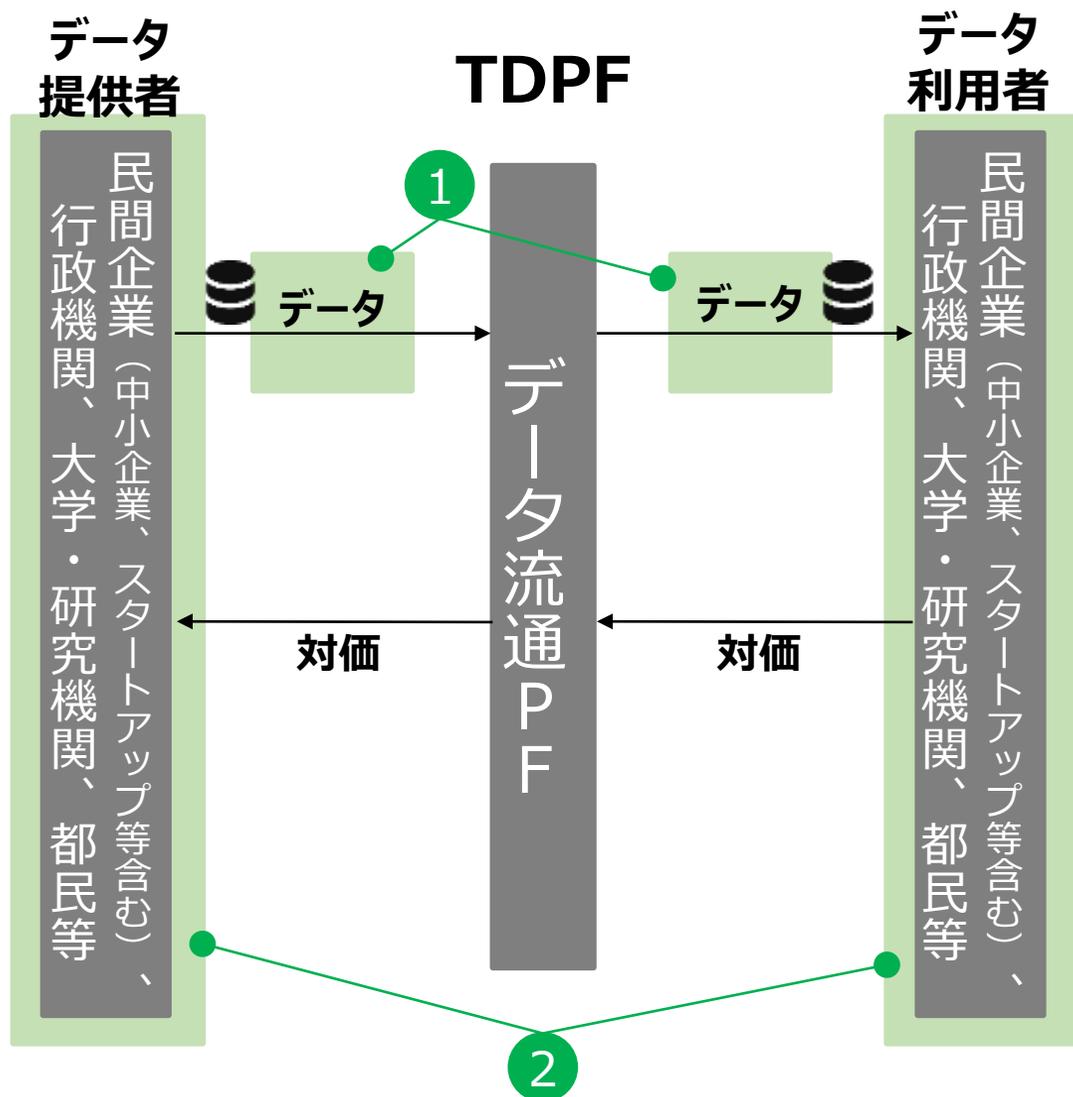
ポリシー策定

データ整備

スマート東京先行
実施エリア取組み

各活動から
ニーズや
価値創出の
可能性が
見えたテーマ

流通を促すために必要な信頼性向上施策を検討



① データに対する信頼（信頼）

- 流通するデータ自体への信頼性向上に向け取り組む

➡信頼性を高めるために、**TDPFとして一定程度関与**

➡**データレート等※のフィードバック機能**を検討

※データの機械判読性の可視化

② 参加者に対する信頼（信頼）

- 参加者（データ提供者・利用者）への信頼性の向上
- 相互に信頼に足るデータ提供者・利用者が参加することを目指した取組や仕組みを想定

➡参加しやすさを重視し、**必要最小限の取組を実施**

【新規WG①】TDPFトラスト検討WG（2/2）

TDPFで確保すべきトラスト、および施策を検討するWGを立上

WGの目的

TDPFにおいてデータ提供者・利用者の安心・信頼を実現し
データ流通を促進するための施策の検討

有識者を中心とした検討会を複数回実施し、
ポリシー検討・システム要件定義などにインプット
WGの内容を公開し透明性高くTDPFのトラストを検討

WGの 取組概要

①TDPFにおける トラストのあるべき姿の明確化

- TDPF参加者が場を信頼するための要素
- 信頼性確保されているTDPF状態定義
- 信頼性と参加のしやすさのバランス
- TDPF事業者のトラスト維持関与方法
など



②TDPFにおける トラスト施策の具体化

- データや提供者評価の見える化
- ガイダンス動画公開によるリテラシー向上
- データの公開範囲や提供停止設定
- TDPF参加審査の簡略化・自動化
- トラブル発生時の対応ポリシー策定 など

【新規WG①】（参考）国・民間等での検討状況

「トラスト」に関して多種多様な検討がなされているが
国・民間等での議論も踏まえつつTDPFに必要な論点を重点的に検討

デジタル庁

トラストを確保したDX推進サブワーキンググループ

「行政機関」が関わる手続・取引、民間における取引・手続も取引・手続についてのトラストニーズ調査、アシュアランスレベルの整理、トラストポリシーの基本方針等の検討

<https://www.digital.go.jp/councils/>

データ社会 推進協議会 DSA

分野間データ連携 トラストサービス

データ流通事業者に対する運用基準策定や、SIPプログラム分野間データ連携基盤を起点としたデータ連携基盤サービスDATA-EXを提供していく上での認証・トラストの設計

<https://data-society-alliance.org/>

海外 (欧州)

eIDAS

EU加盟国における電子取引における本人確認の電子IDや、電子署名、タイムスタンプ等のトラストサービスの統一基準を定めた法的規則

<https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/policies/eidas-regulation>

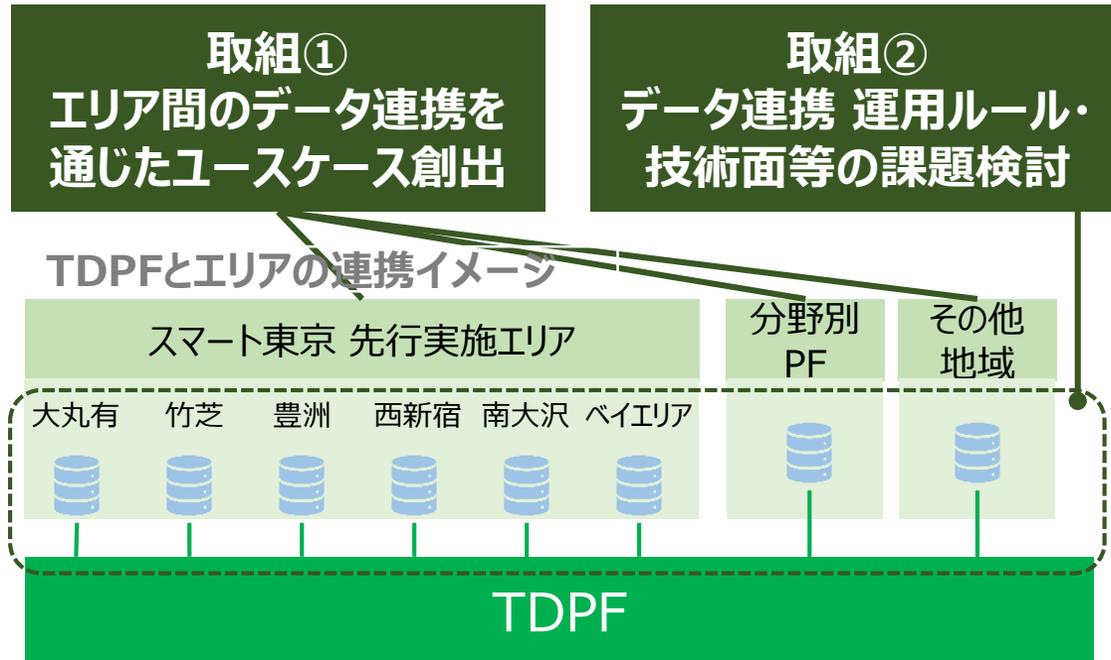
【新規WG②】エリア連携WG

各エリアの都市OSの連携を通じ、各エリアのデータ活用高度化や、データ集約によるサービス開発につなげるためのユースケースや課題を検討するWG立上に向け準備中

WGの取組概要

WGアプローチ例

検討事項

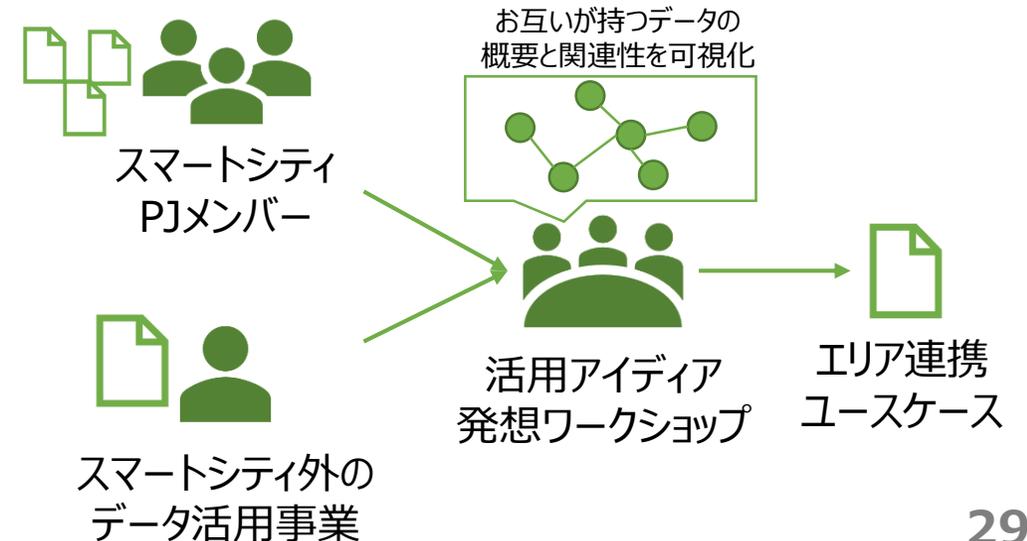


各エリアのデータ活用高度化や、データ集約によるサービス開発につなげる

各スマートシティPJや、データ活用事業が持つ、「こんなデータがある」「こんなデータがあると嬉しい」という情報を軸にしたワークショップを行う

「こんなデータを持っている」「こんなデータがあると嬉しい」を事前準備として用意

お互いに持っているデータを用いて何ができるか？を討議



参加メンバー

- 各スマートシティ参画事業者、エリマネ、都庁関連部局、課題解決に関わる有識者 等

【新規WG③】Meet-upによる新しいテーマの探索

防災・施設に加えて、新たなテーマの開拓を目指し、TDPF活用を広く考えるきっかけとしてのイベント「Meet-up」を開催

Meet-upテーマ出し

スマート東京が目指す姿や社会課題に沿った新テーマ

エネルギー

フードロス

地域プロフ・自然・安全

観光

保育・教育

環境・気候

医療機関

介護サービス

...

参加者募集

テーマに関わりそうな事業者へ広く声掛け・募集



TDPFに Slack等で参加済みのメンバー

- 新テーマに取り組みたい
- 興味テーマを新たな方と議論したい



TDPFに参加していない方々

- 行政主催の場での取組を模索したい
- 仲間を探している
- 自社知見を役立てたい

Meet-up

多様な事業者とのディスカッションで自事業が貢献できる新たな価値を発見

ライトニングトーク
(対象テーマにおけるデータ活用ユースケース例)

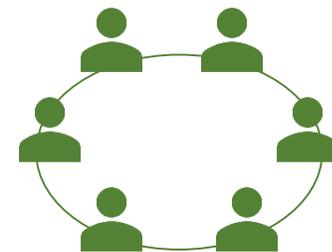
データ活用
ワークショップ



ワークショップテーマ例

- 障がい者や乳幼児連れでも快適に観光できるための情報とは
- みんなが更に節電を実行できるために提供すべき情報とは

新テーマに関心を持った方々がTDPFのコミュニティに加入



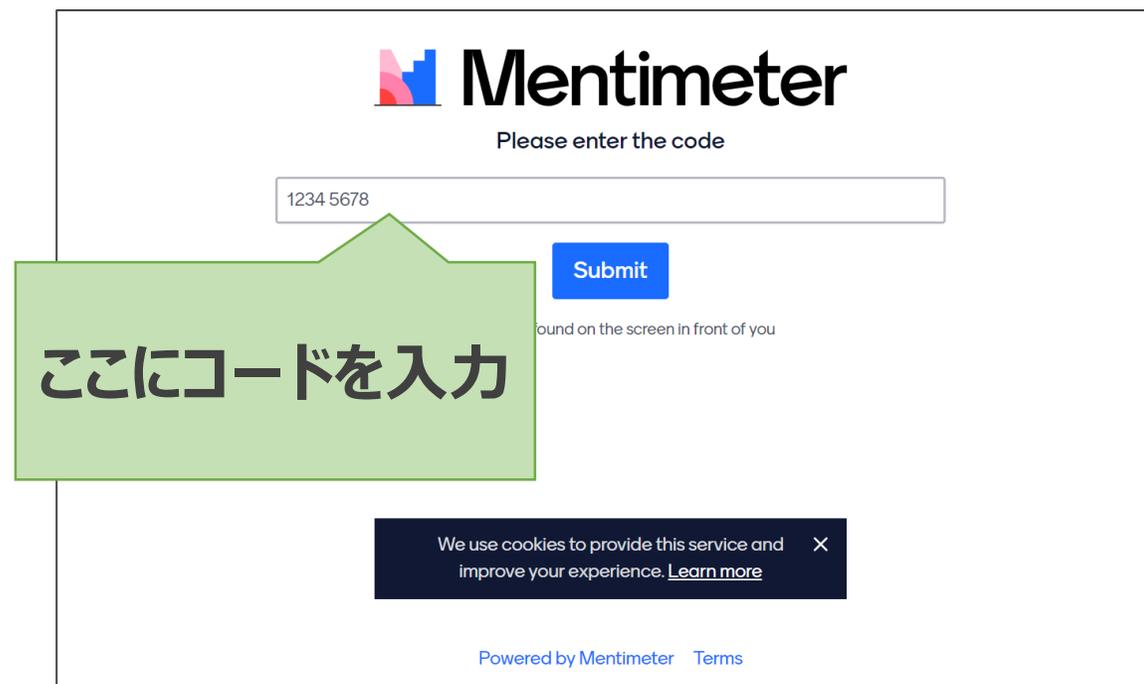
盛り上がりを見せるテーマにはWG組成を提案

あなたが参加してみたいMeet-upのテーマについて教えてください

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください。



URL : <https://www.menti.com>



コード : 35 28 40 0

引き続きご質問がございますので、回答後の画面はそのままでお願いいたします。

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

ビジョン・ミッション実現に向けたTDPFの取組

◆新規WG立上について

- TDPFトラスト検討WG
- エリア連携検討WG
- Meet-upイベントを通じた新規分野の開拓

◆TDPFの推進計画・注力分野

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

令和4年度の取組

令和3年度

- デジタルサービス局新設
- (国)デジタル庁設置

①コミュニティ構築

協議会設立

- ・事業内容、事業計画(案)等の検討
- ・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの設置

- ・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

②ユースケース創出

ケーススタディによるデータ利活用事例創出

- ・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

③データ整備

行政データ整備モデルの構築

- ・区市町村の行政データ整備手法をマニュアル化し、TDPFへ誘因

④ポリシー

ポリシー案の改訂

- ・継続検討・確定事項の反映

⑤基盤構築

データ連携基盤構築事業の要件定義

- ・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

令和4年度

①協議会の取組拡充

- ・事業内容、事業計画(案)の検討
- ・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの拡大(3⇒5)

- ・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論
- ・アドバイザー制度の構築(試行)等によりユースケース創出を支援

②ケーススタディによるWG等ユースケース実装

- ・ユースケースを仮想データ連携基盤に実装

③データ整備手法の拡充・事業化準備

- ・民間事業者や自治体等のデータ整備を通じニーズの高いデータフォーマットを統一

④ポリシー案改訂・アドバイザーリーボード設置準備

- ・継続検討・確定事項の反映、アドバイザーリーボードの検討

⑤仮想データ連携基盤の構築・提供

- ・データ連携基盤の要件定義改版、仮想データ連携基盤の構築

防災データWG（1/2）

防災関連データの利活用を推進するWGを設立し、防災サービスの開発を後押し

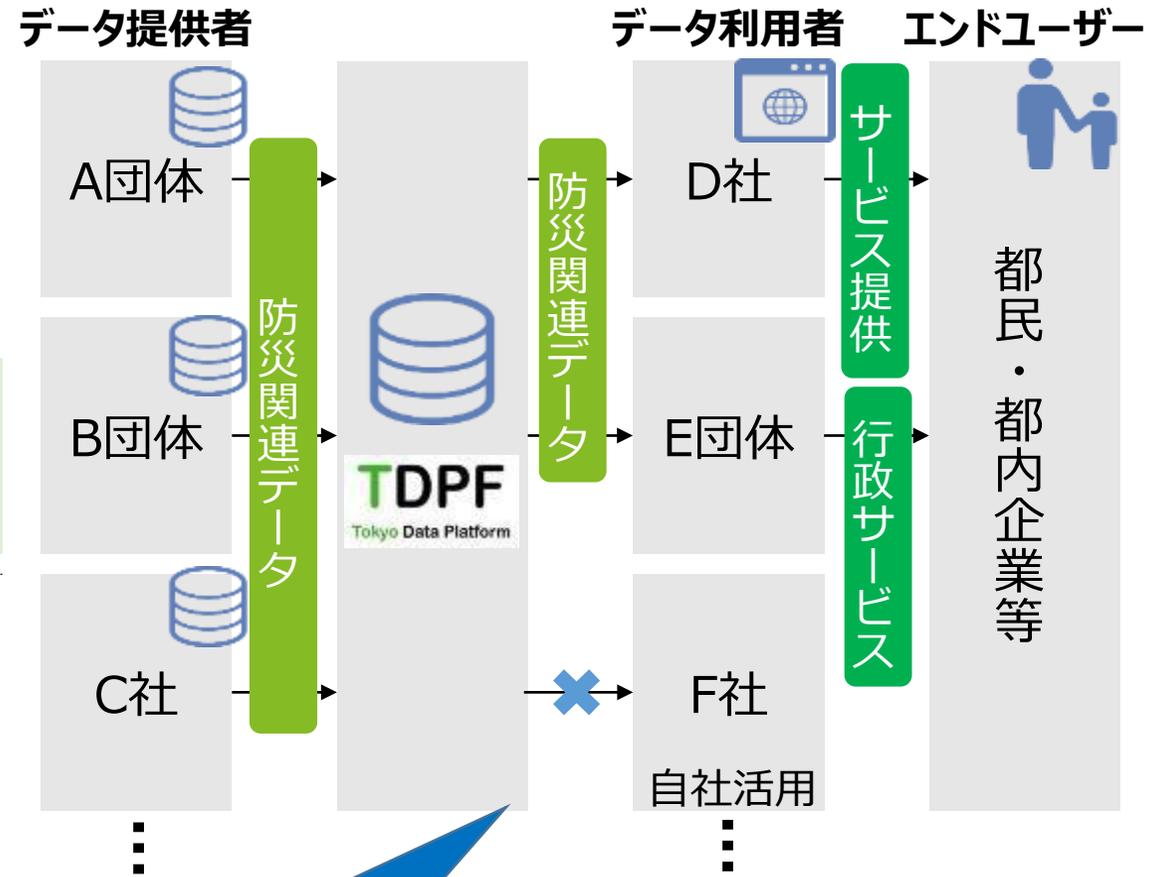
WGの取組概要

1. 防災に役立つデータの官民間での流通を拡大する
2. 防災サービスに必要な情報を洗い出し、それらの整備・連携方法を検討する

防災サービスの開発を後押しし、
都民・都内企業の防災対応力を向上

- 避難所や一時滞在施設等の関連情報の連携
- 断水や道路交通情報等を店舗運営・物資輸送等において参考情報として活用
- 発災時を想定したシミュレーションに各種ハザードマップを活用

活動イメージ（将来像）



【令和4年度】防災データWG（2/2）

昨年度検討したユースケースの実装に向け、データ収集・提供方法等の検討
また、防災データ利活用に向けた事例検討・創出も継続的に実施

令和4年度

5-8

9-12

1-3

★第5回WG(5/25)

★第6回WG(予定)

★第7回WG(予定)

★第8回WG(予定)

活動①

ユースケースの
実装に向けた
データ収集・提供
方法などを具体化

① 発災時データニーズの詳細検討

② データ連携方法の検討

③ データフォーマットの検討

データ利活用
事例等まとめ

活動②

防災関連の
データ利活用事例
の創出を継続

④ 平時のデータニーズの探索

⑤ オープンデータの認知向上を通じた活用促進

成果公表

次年度活動
方針策定

取組①,②と相互に連携し、
課題検討などを実施

ケーススタディ
事業連携による
実証

ケーススタディ事業によるユースケース創出

実証準備

実証期間

分析・報告

施設系データ集約WG（1/2）

官と民の施設・設備データを集約し、利活用を推進するWGを設立

WGの取組概要

目的と検討事項

1. 官民に散在するデータの集約
2. 都民への伝達手段の多様化・付加価値向上
～地図・ポータルへの連携、混雑情報の活用等
3. データ更新のルール策定
～データ提供条件、フォーマット等

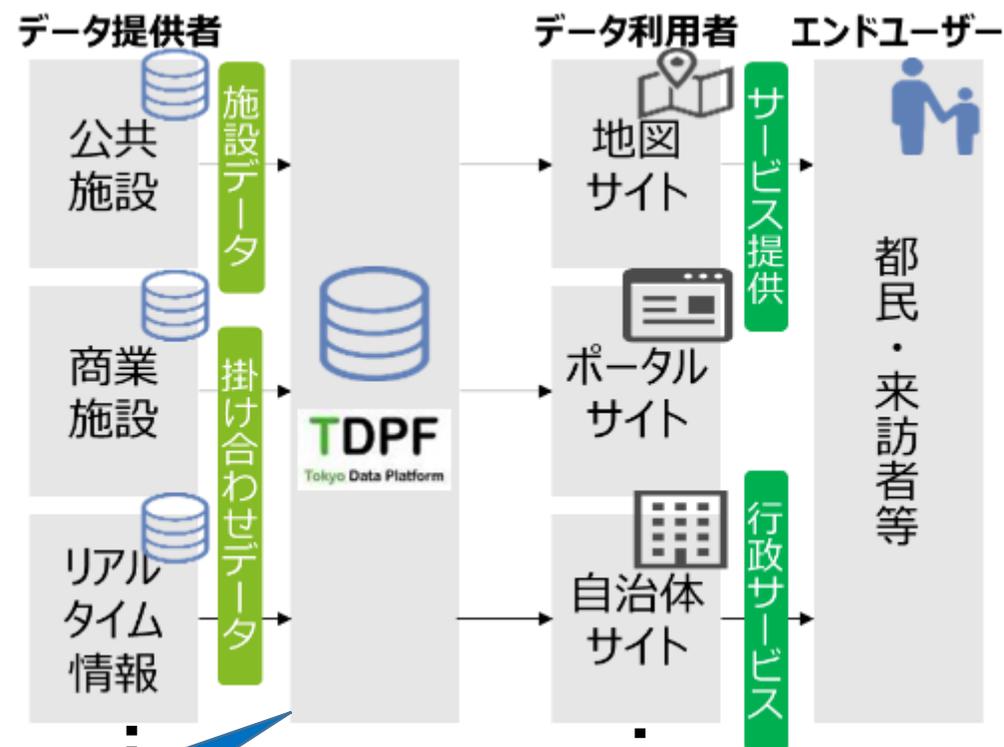
あらゆる都民や来訪者等が街で
快適に過ごせるサービス提供を後押し

対象エリア ・データ

- 令和3年度の対象
西新宿エリア・トイレ施設

活動イメージ（将来像）

対象エリアや施設を拡大

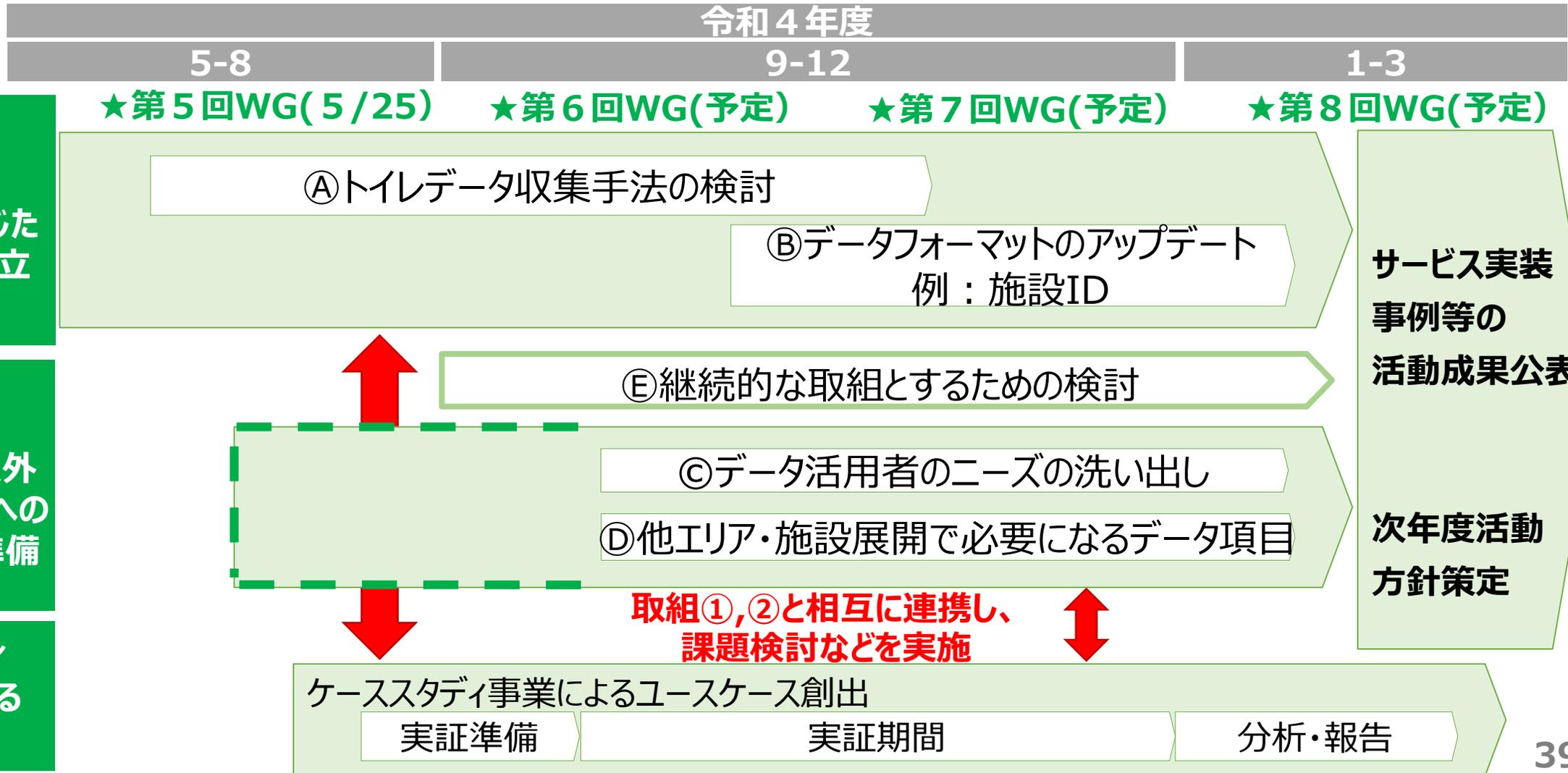


WGで、データ提供条件・フォーマット検討

TDPFの役割：
データ提供条件に応じて、データ利用者を制限
付加価値データの掛け合わせ

【令和4年度】施設系データ集約WG (2/2)

昨年度の西新宿エリア・トイレ施設を対象としたデータ活用ユースケースを
今年度はデータ収集手法も踏まえてモデルケースとして確立し他エリア・施設へモデルに拡大



Slackコミュニティについて

Slackにて運用中の「東京データプラットフォーム協議会ワークスペース」を
情報共有、参加者間の交流、意見発信等の場として活用中

参加人数

426人

6月17日時点

▼ チャンネル

- # 01_全体
- # 02_雑談
- 🗨️ 04_00_防災データwg
- 🗨️ 05_00_施設系データ集約wg
- # 06_デジタルツイン
- # 07_自己紹介



産・官・学の多様な方々が集い
データ活用に関する発信・意見交換による
気づきと出会いの場として更に活性化を図っていく

- 注目ニュース共有
- 意見発信
- ご自身や自社事業の取組紹介
- イベント告知
- 事務局連絡

など

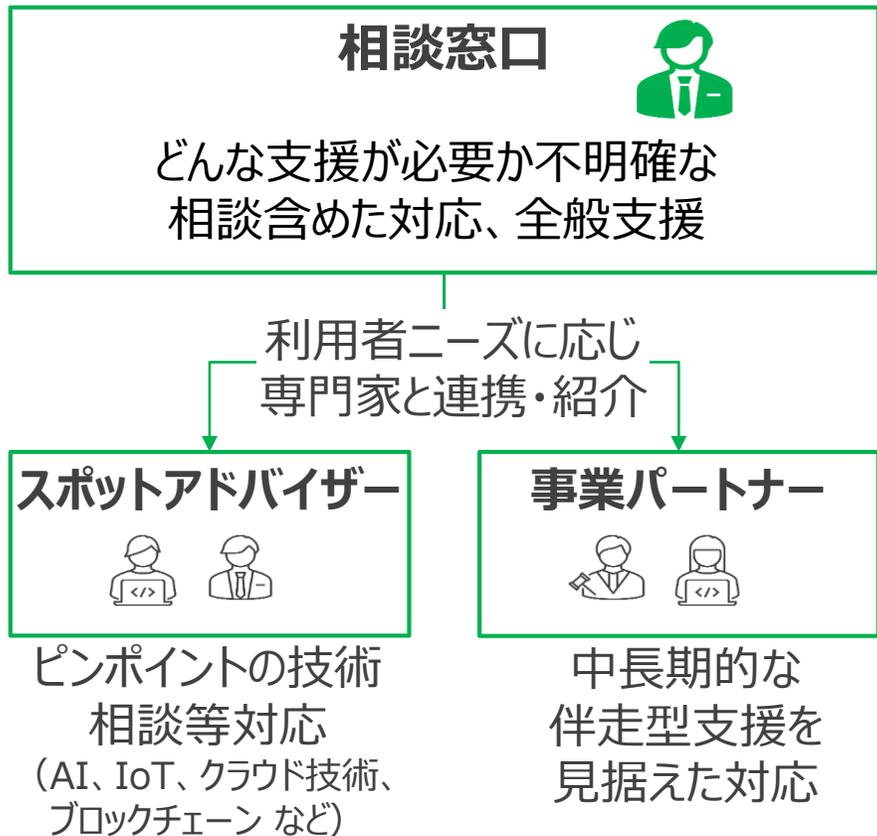
登録方法

- アンケート内に登録者情報を記入
- 事務局アドレスからも随時申込み可
(JPABEAM.SMART.TOKYO.DL@abeam.com)

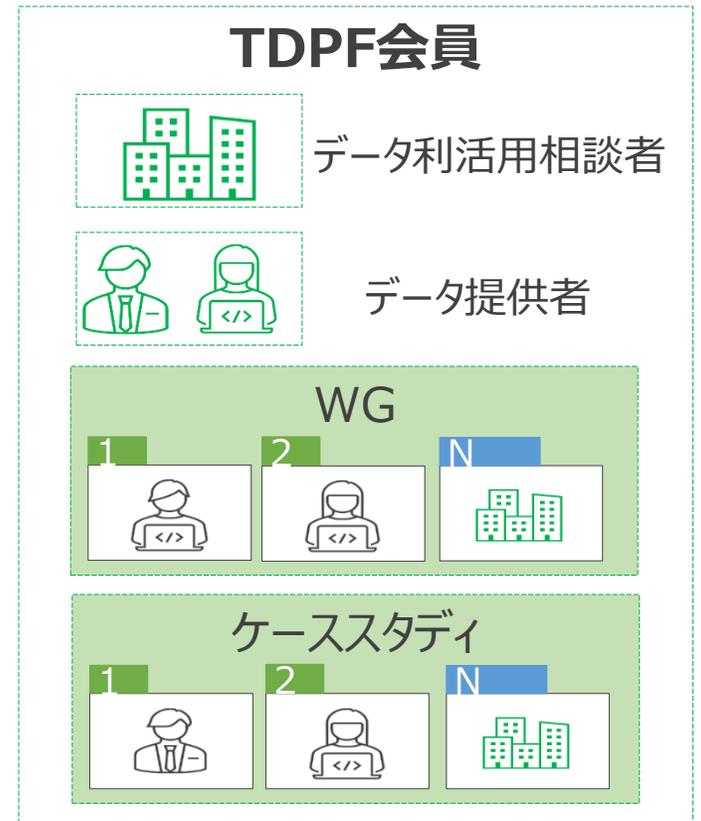
登録がまだの方は是非ご連絡下さい

【新規】アドバイザー制度

推進会議でのご意見なども踏まえ、ユースケース創出などを支援するアドバイザー制度を整備
今年度下半期にトライアルを実施予定



- ① 相談対応
 - TDPF利用に関する質問対応
 - 専門技術者引合せ
 - アイデア具体化
 - 必要技術洗い出し
- ② WG立ち上げ
- ③ WG支援
- ④ ケーススタディ支援
- ⑤ 事業化支援
- ⑥ データ利活用研修/WS開催



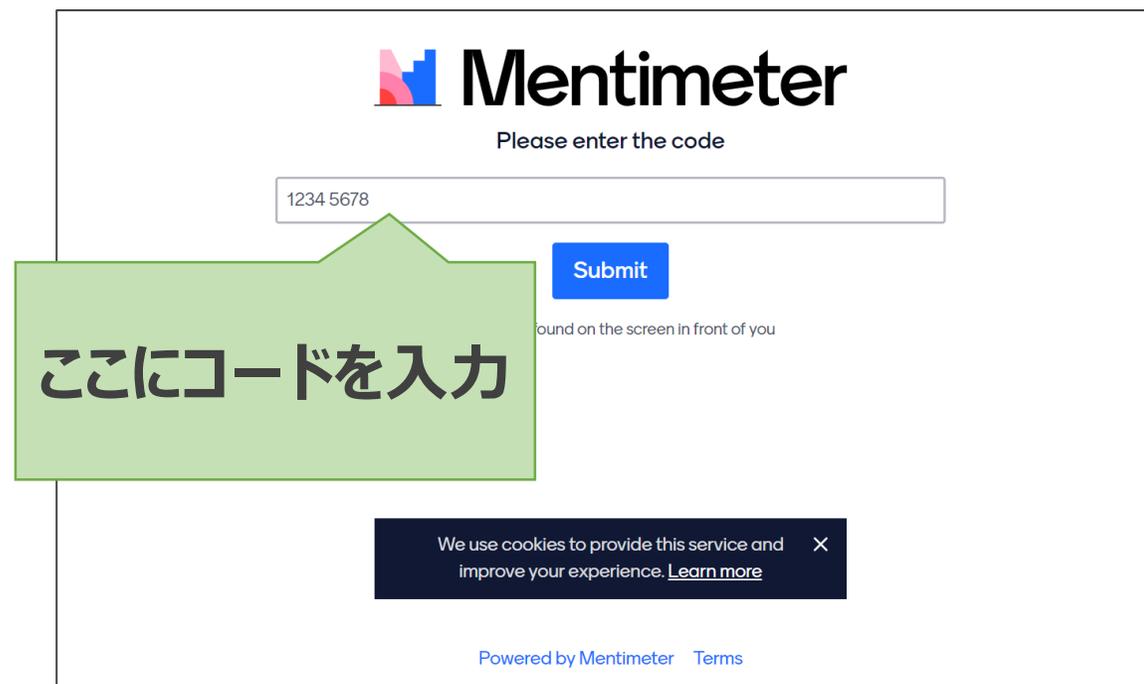
相談者・アドバイザー・データ所有者が共創する環境を整備
WGやケーススタディ事業などの枠組みとも連携し、データ利活用アイデアの具体化を支援

あなたがアドバイザー制度に期待する支援内容について教えてください

お手元のスマートフォン等でQRコードを読み取り、ご回答ください。



URL : <https://www.menti.com>



コード : 35 28 40 0

令和4年度の取組

令和3年度

- デジタルサービス局新設
- (国)デジタル庁設置

①コミュニティ構築

協議会設立

- ・事業内容、事業計画(案)等の検討
- ・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの設置

- ・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論

②ユースケース創出

ケーススタディによるデータ利活用事例創出

- ・データを利活用する民間事業者の掘り起こしを実施

③データ整備

行政データ整備モデルの構築

- ・区市町村の行政データ整備手法をマニュアル化し、TDPFへ誘因

④ポリシー

ポリシー案の改訂

- ・継続検討・確定事項の反映

⑤基盤構築

データ連携基盤構築事業の要件定義

- ・取り組むべき事業に合わせ、業務/システムの要件検討

令和4年度

①協議会の取組拡充

- ・事業内容、事業計画(案)の検討
- ・TDPF利用者とのネットワーキングやコミュニティを形成

WGの拡大(3⇒5)

- ・ユースケース創出に向け、民間事業者等と議論
- ・アドバイザー制度の構築(試行)等によりユースケース創出を支援

②ケーススタディによるWG等ユースケース実装

- ・ユースケースを仮想データ連携基盤に実装

③データ整備手法の拡充・事業化準備

- ・民間事業者や自治体等のデータ整備を通じニーズの高いデータフォーマットを統一

④ポリシー案改訂・アドバイザリーボード設置準備

- ・継続検討・確定事項の反映、アドバイザリーボードの検討

⑤仮想データ連携基盤の構築・提供

- ・データ連携基盤の要件定義改版、仮想データ連携基盤の構築

【令和4年度】ケーススタディ事業（1/2）

WGでの検討テーマを中心にケーススタディを公募 仮想データ連携基盤の利用、ポリシー案適用により実装に向けた検討を具体化

① TDPFの継続利用に繋がるケーススタディを3件公募

- 1) 施設系データの集約と利活用
- 2) 防災データの利活用
- 3) その他のテーマ（スマート東京実施戦略で掲げる街のDXに資するなど、TDPFにおける新たなニーズにつながるプロジェクト）

② TDPF関連事業における具体的な検討の場として活用

- 1) **仮想データ連携基盤を利用**し、要件のフィードバック
- 2) データ提供及び利用の際に**ポリシー案を適用**し、課題の洗い出し

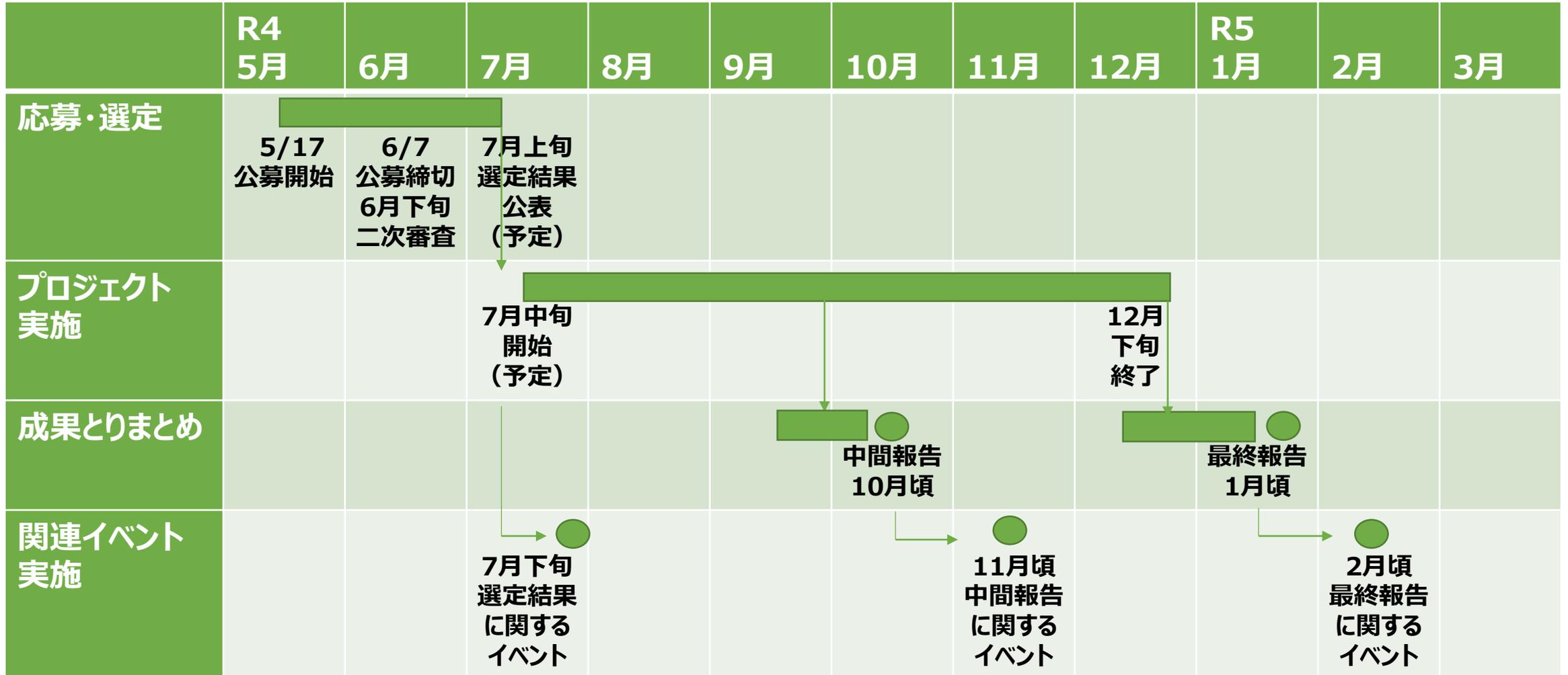
③ 得られたケーススタディを利活用事例として、積極的に広報

- 適宜実施するイベントや、協力事業者としての参画により一体感を高める

【令和4年度】ケーススタディ事業（2/2）

7月中旬、プロジェクト開始予定

7月下旬以降に採択プロジェクト紹介イベントを実施予定



【令和3年度】行政データ整備モデル事業

自治体に協力いただき、7自治体・9パターンのデータ整備作業を実施
それぞれの取組状況に応じ、データ整備モデルとしてマニュアル化

整備モデル	対象データ	協力自治体	マニュアルの内容
①画像・PDFから変換	地域・年齢別人口	板橋区	PDFのみでしか取り出せないデータがある自治体向けのマニュアル
②エクセルデータからの変換 (緯度経度クレンジング含まず)	介護サービス事業所の一覧	八王子市	エクセルデータ化まではできているが、エクセルデータのフォーマットの統一を進める自治体向けのマニュアル
	医療機関の一覧	板橋区	
	医療機関の一覧	三鷹市	
	避難関連施設情報	八王子市	
③エクセルデータからの変換 (緯度経度クレンジング含む)	介護サービス事業所の一覧	三鷹市	エクセルデータの中で、住所等のフォーマット統一ができしており、緯度経度情報を追加し正規化するマニュアル
	医療機関の一覧	八王子市	
	バリアフリートイレ情報	港区	
④複数区のデータ変換・統合	地域・年齢別人口	品川区 目黒区 渋谷区	複数の自治体のオープンデータを変換・統合し、民間事業者の中で流通しやすい形式にするためのマニュアル

昨年度成果報告会資料 [はこちら](#)



データ整備マニュアル [はこちら](#)



【令和4年度】データ整備事業（1/2）

昨年度成果も踏まえ、データ整備メニューの高度化と対象拡大に取り組むとともに、ビジネスモデルを検討

- ① 昨年度顕在化した課題の解決に取り組み、データ整備メニューを高度化
- ② 民間事業者の保有データも含む新たな分野のデータを対象にデータ整備手法をモデル化

検討成果を踏まえ、データ整備事業のビジネスモデルを検討

事業目的

進捗

実施中（7月22日締切）

整備事業の
対象団体の公募

アンケート実施
（62自治体）

7月～8月

自治体・応募団体
へのヒアリング

9月～2月

データ収集・整備作業
（8データ、6団体）

データ整備ビジネスモデル
契約書ひな型等検討

2月～3月

マニュアル化
成果報告

品質高度化の対象データ

地域・年齢別人口

医療機関一覧

介護サービス事業所
一覧

食品等営業許可
一覧

取り扱うデータの領域拡大の対象データ

スマートホーム
関連情報

店舗や施設一覧

イベント情報

人流統計

整備モデル
対象データ

【令和4年度】データ整備事業（2/2）

アンケートへのご協力、データ提供協力事業者の募集をしています

アンケートの募集（民間事業者向け）

・皆様のTDPFへの興味・関心やデータの保有・管理状況に関するアンケートにご協力をお願いします。

◆ 主な質問項目

- ① TDPFへの興味・参加意向
- ② データ整備における課題・ニーズ
- ③ データ整備メニュー関連データの保有状況

◆ アンケートフォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScDcCcMZ7ig3g0uHhM_abfu82fY2aIRiGYal7gTMdZ3pDdyLg/viewform



※ 自治体向けアンケートは別途メールにてご案内のURLから回答をお願いします

データ提供協力事業者の募集

・下記条件に同意いただければ、どのような事業者様でも応募可能です。

- ・データ整備用のデータを提供いただけること
- ・都が実施する周知活動について、協力いただけること

◆ 整備対象データ

①スマートホーム関連	IoT家電や住宅設備から収集される様々な機器の稼働データや利用データ
②店舗や施設一覧	コンビニ・宅配センター・塾・ATM・などの広く利用される施設に関するデータ
③イベント情報	公園・文化施設等で開催が予定されるイベントの開催場所や開催期間に関するデータ
④人流統計	カメラ等の映像を基に推定された混雑度・通行人属性に関するデータ

募集期間

令和4年6月13日(月)～令和4年7月22日(金)正午まで 49

【令和3年度】ポリシー案の改訂について

契約（TDPF事業で遵守すべきルール）
ユースケース（WG・ケーススタディ）
推進会議等

ユースケース参加事業者へのポリシー案
についてのヒアリングを実施・結果を検討

- ・ 個人情報の表明保証
- ・ 利用条件、二次利用
- ・ 利用状況確認・監査 等

現行のポリシー案で対応可能な範囲と
確認

意見等からの文言の修正はしない

法律（法令改正）
令和3年度「個人情報保護法」および
ガイドラインなどの改正

保有個人データに関する公表等事項と
して保有個人データの安全管理措置が
追加

データの保管場所、外的環境の把握
(個人情報ガイドライン改正)の記載 等

法令改正に伴う変更を実施

技術
データ連携基盤構築事業での技術的
対応方針の確認

・ 昨年度は特に反映すべき事項なし

今年度以降検討

ポリシー案1.1へ改訂

【令和4年度】ポリシー案改訂・アドバイザリーボード設置準備

継続的にポリシー案とTDPF関連事業を照合し、必要に応じて改訂

令和3年度ポリシー案

東京データプラットフォーム
ポリシー構成

東京データプラットフォーム
プライバシー
ステートメント

東京データプラットフォーム
規約

東京データプラットフォーム
データガバナンス指針

東京データプラットフォーム
コンプライアンス指針

東京データプラットフォーム
情報セキュリティ
ポリシー

協議会
ケース
スタディ
等

「協議会」「ケーススタディ事業」「データ整備」等を通じて事業内容・組織体制等の詳細を策定

- TDPF事業計画（案）・内容詳細策定、ユースケースの具体化
- 仮想データ連携基盤の構築、民間事業者や自治体のデータ整備事業

検討結果等を反映

ポリシー
案策定

事業内容・ユースケース等に基づいたポリシー案に改訂

- 個人情報に限らず、事業内容・ユースケース等に応じて条項案の改訂

主な
課題

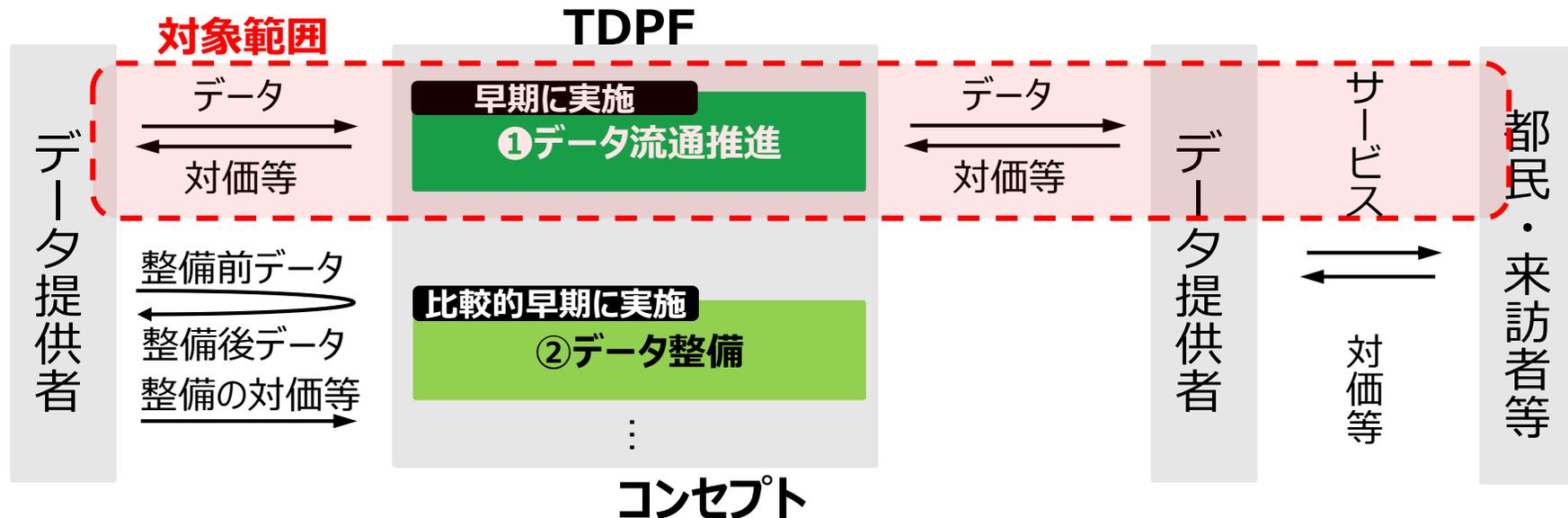
法令改正等による改訂
運営組織における管理体制整備
データ提供者・利用者に求める事項
取り扱いデータの判断方法・・・等

事業
体制
検討

事業体制や必要機能の検討に応じて、アドバイザリーボード（第三者委員会）設置等の準備

【令和3年度】データ連携基盤事業

3つのコンセプトのもとに、要件定義書を作成し、オープンデータとして公開



要件定義書初版
(本編)



令和4年3月

①大きなデータベース
は作らない

- データを貯めるのではなく、流通させる連携基盤
- 国や関連団体と同期、他PFとの相互運用性の確保

②トラストの確保

- データのトラストと利用者のトラストに対して連携
- 基盤が果たすべき役割の見極め

③リーンスタートと
拡張性

- 早計に最終形を定義せず、必要な機能からスタート
- マイクロサービスアーキテクチャ※で構成
(※ 小さな独立した部品の集まり)

ベンダーフリーな
要件定義書をオープン
データとして公開

【令和4年度】データ連携基盤事業

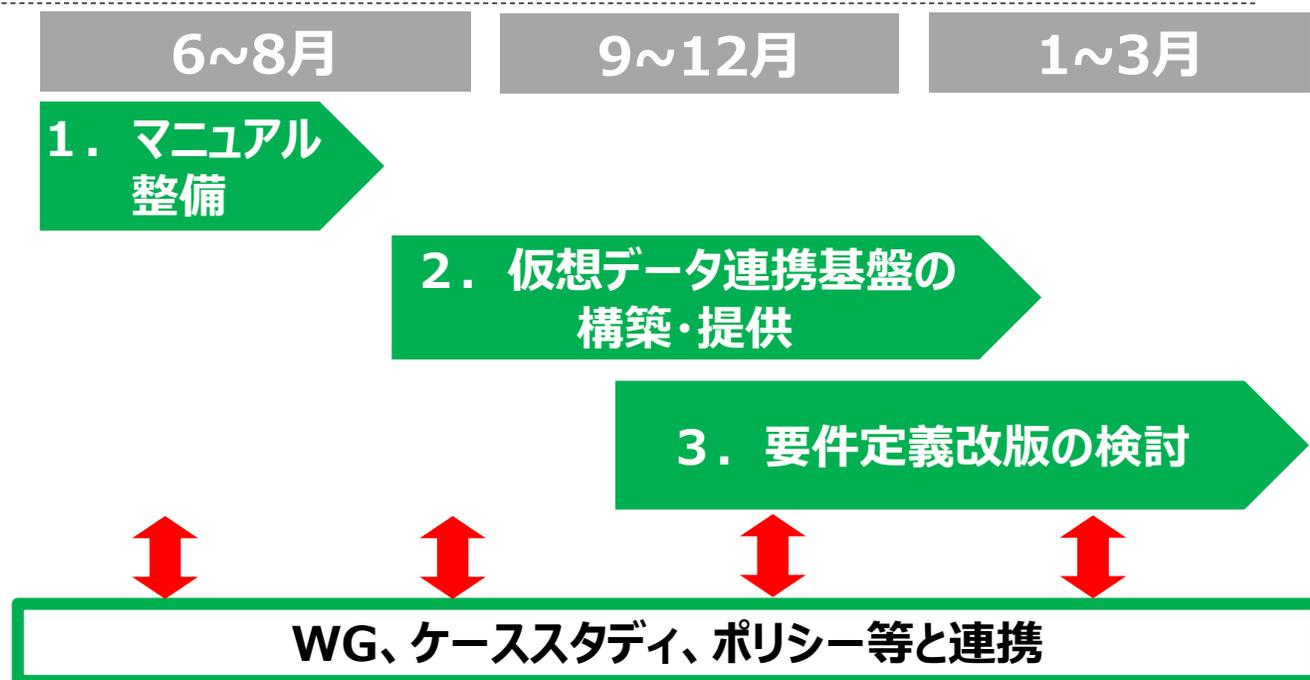
仮想データ連携基盤を構築し各事業で活用、要件定義書を改版 運営組織における基盤構築につなげる

目的

- データ登録・提供機能を備えた**仮想データ連携基盤**をケーススタディ事業等で活用
- 利用者からのフィードバック及びTDPF協議会での提言、国や各団体の動向を踏まえ要件定義書を改版

事業内容

- 仮想データ連携基盤の利用者への技術サポート・マニュアル整備
- 仮想データ連携基盤の構築・提供（アカウント管理、データ収集・登録、データ提供、セキュリティ）
- TDPF運営組織が提供するデータ連携基盤の要件定義書を改版



本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

◆令和4年度の各事業計画について

- 【新規】アドバイザー制度
今年度上期：制度設計 今年度下期：トライアル実施
- ケーススタディ事業
- データ整備事業
- ポリシー案改訂・アドバイザーリーボード設置準備
- データ連携基盤事業

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

皆様の貴重なご意見を活動に反映すべく、アンケートにご回答ください



アンケートURL

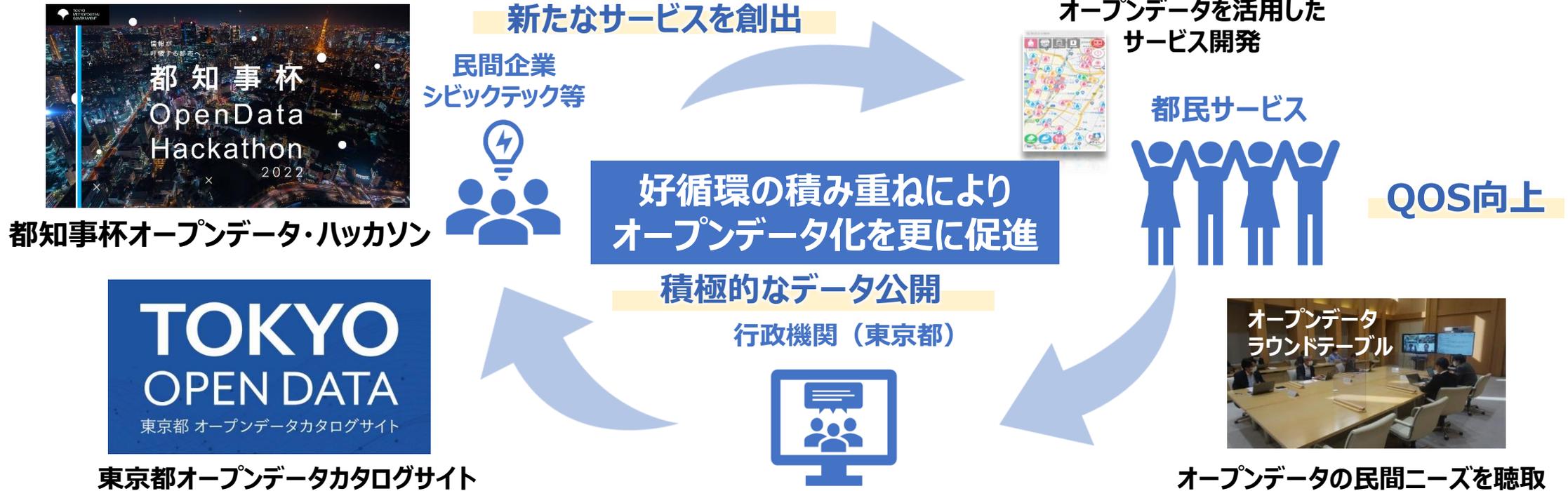
<https://forms.office.com/r/2ya0iSHuhh>

本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。

皆さまのご参加お待ちしております。

オープンデータ徹底活用プロジェクト

オープンデータを活用した民間のサービス創出などを通じ、
都政のQOS(クオリティオブサービス)の向上を目指す



- ラウンドテーブルなどを通じて伺った民間ニーズを踏まえ、オープンデータカタログサイトでデータを積極的に公開
- オープンデータ・ハッカソンを開催し、新サービスの創出を促進
- 活用事例を積み重ね、それがデータ公開を一層進め、都民サービスの更なる向上が図られるという好循環を作り、都政のQOSを継続的に向上

都知事杯オープンデータ・ハッカソン2022

オープンデータを活用して、行政課題の解決に向けた
デジタルサービスの開発を競い合うイベント
今年度は第2回目の開催、プログラムをパワーアップして実施



参加者募集
～8/5



ハッカソン
8/23～8/28



First Stage
9/18



Final Stage
10/12



サービス実装
年度末まで

特徴



参加を検討している人
に向けた
募集イベントを実施



応募者間コミュニティ
を開設
(応募後に参加可能)



充実した講師陣
都職員も多数登壇



プログラム(講義)を
アーカイブ配信
(参加者のみ視聴可)



最終審査(Final Stage)で
視聴者人気投票を実施

参加者募集イベント

ハッカソンの魅力を伝えるために、参加者募集イベントを実施中！

7/6

水曜日

行政課題 都庁の人に聞いてみよう

18:30-19:30 都職員によるパネルディスカッション
19:30-21:00 チームビルディング

概要

本ハッカソンのテーマである「行政課題」について理解を深めるために、実際に都庁で働く職員によるパネルディスカッションを行います。「都庁ではどのような課題があるのか」「行政課題とはそもそも何なのか」など、様々なテーマで議論します。

登壇



デジタルサービス局
サービス開発担当部長
荻原 聡



デジタルサービス局
デジタル基盤整備部長
高藤 圭司



デジタルサービス局
データ活用担当部長
若井 太郎



デジタルサービス局
デジタルシフト推進担当課長代理
田村 政典

7/21

木曜日

エンジニアじゃなくてもつくれちゃう？

18:30-19:00 ノーコードツールの使い方
19:00-21:00 チームビルディング

概要

プログラミングの経験がない方または初心者の方でも、アプリやサービスが作れるようになるために、ノーコードツールの使い方についてレクチャーいたします。

会場：千代田区丸の内3丁目3-1 4F



HPリンク

・会場で参加する場合は、HPから事前申込が必要です。

※オンライン参加も可！（Zoom、Youtube）
詳しくはHPをご確認ください！

TDPF事業 今後の予定について

第5回 東京都における
「都市のデジタルツイン」
社会実装に向けた検討会

6月28日

ロードマップ第2版、今後のデジタルツイン
事業展開について意見聴取等を予定
傍聴のお申込みはこちらから →



T
D
P
F
デ
ー
タ
整
備
事
業

・事業アンケート
(自治体向け)

7月8日
正午まで

本事業への参加意向、データ整備における課題及び
ニーズ等の調査を自治体及び事業者向けに実施
※別途メールにて案内済

・事業アンケート
(民間事業者向け)

7月22日
正午まで

本事業への参加意向、データ整備におけ
る課題及びニーズ等の調査を自治体及び
事業者向けに実施



・協力事業者公募
(民間事業者向け)

7月22日
正午まで

昨年度作成したデータ整備マニュアルを拡
充するため、データ提供に協力いただける
事業者を公募中



Tokyo Cool Home & Bizの取組について

HTT <H減らす・T創る・T蓄める> をキーワードにキャンペーンを実施中



<取組紹介サイト>



中長期的にエネルギーの安定確保につなげる観点から、
取組を強化・加速してまいります

本日の次第

1. 開会の挨拶
2. 委員自己紹介・事務局紹介
3. 第4回推進会議の振り返り
4. TDPFの推進計画
5. TDPF協議会の令和4年度取組内容
6. 意見交換①
7. 各事業の令和3年度振り返りと令和4年度計画
8. 意見交換②
9. 東京都からのお知らせ
10. 閉会の挨拶

10. 閉会の挨拶

東京都 デジタルサービス局長 久我 英男

**ご清聴ありがとうございました
皆様の貴重なご意見を活動に反映すべく、アンケートにご回答ください**



アンケートURL

<https://forms.office.com/r/2ya0iSHuhh>

**本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内に
アカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。**

皆さまのご参加お待ちしております。